

# おじゃまします！

文責：徳永哲郎（地域学校コーディネーター）

2020. 3. 25 No.20

## 第4回CS定例会議行われる（2/21）

委員対象自己評価の結果をもとに話し合い、成果と課題を次のようにまとめました。くわしくは、一中HP「コミュニティ・スクール」の「第4回記録」をご覧ください。

### 成果「まずは一步をふみ出せた！」

♣読書まつりへの参加は大きな反響がありました。ゆるキャラの募集などでも、それなりに成果が残せたと思います。

♣1年目にしてはいろいろなことができたと感じています。

### 課題①双方向での連携を

CSの導入によって、地域から学校に足を運ばれる方が増えました。また中学校では先生方のCSに対する関心が高まりました。しかし、まだ学校やCSからの一方的なお願いが多いようです。交流の場を増やし、何でも言えるフランクな関係を築いていきましょう。

### 課題③児童生徒に活躍の場を

「読書まつり」を通して、子どもたちが参画し活躍する場の大切さがよくわかりました。おとなしいと思っていた子が積極的に活動する姿を見て、子どもを見る目が変わりました。初めは少人数でも「一緒にやろう」という声かけをすれば、きっと大きな力になるでしょう。



読書まつりへの参加(12月)



ゆるキャラの募集(8月)

### 課題②理解度のアップを

「おじゃまします」等を通じて、情報はよく発信されていますが、浸透度はまだまだです。でも、今年行ったような地域説明会、学校と地域の交流会、例えば給食を児童生徒や先生と一緒に食べるというような活動を積極的に行えば、関心や理解がよい方向に向かうでしょう。

### 課題④委員はもっとアクションを

もっと学校に足を運び、先生方と話したり授業を見たりする必要があります。学校も大歓迎です。まず、委員の名札を作り、学校や地域に積極的に出て行って、子どもたちや先生方、地域の方に名前と顔を覚えてもらいましょう。デザインはもちろん児童生徒ですね！

## —— 臨時休校下の一中卒業式 ——

### 「出番だぞ!!」準備や片付けに支援の輪

卒業式の準備や後片付けを在校生ができなかったため、CS委員や教職員が緊急出動しました。

一中では6日午後のシート敷き、9日の前日準備、10日の後片付けの3回、境小・上道小の教職員、PTAとCSの委員有志が大奮闘。逆に両小学校の2度の作業には、一中の先生方が応援にかけつけました。

「助け合おう」「一緒に頑張ろう」という雰囲気が高まった背景には、間違いなくCSの存在があります。CSへの関心が高まることによって、このような助け合いがさらに地域全体に広がるような気がします。



「気を付けて!」ピアノ運び(一中)



寄せ書きを貼る一中の先生(境小)

### 坂井校長の式辞から(一部抜粋)

今年からCSが始まりました。これからは高校生も地域の一員としてさまざまな活動に参加できるようになります。育ててもらったふるさと境港のために、力を発揮してください。それぞれの新しい場所で活躍されることを祈っています。



卒業生と先生の合唱

### 筆者の独り言 「語り継ごう! 2月28日」

臨時休校が決まった2月28日、学校の職員室は誰も経験したことがない不安や迷いにみちあふれていました。ふと、東日本大震災などの大災害の時、また戦争が激しかった時代、学校はどうだったのだろうと思いました。

今までの「当たり前」が全く通用しなくなった中、職員室では「あれはどうする?」「これは?」という立ち話があちこちで。困った時に大切なのは、課題と正面から向き合うこと、みんなで知恵を出し合うことだと実感しました。「ピンチをチャンスに!」勇気・元気・共感の輪の出発点になりそうです。